

# シリーズ 私が、がんと診断された時

## 「緩和ケアチームでの看護師の役割」

### 第三話



当院の緩和ケアチームに対する依頼内容としては、患者さんの症状コントロールを主とするものの他、患者さんご家族のサポートや実際に関わっている病棟スタッフのサポート、在宅や緩和ケア病棟への転科・転棟に関する事など様々です。

実際に緩和ケアチームの看護師が関わる対象は、患者さん・ご家族はもちろんのこと、病棟スタッフや緩和ケアチーム内、病院全体、地域など多岐に渡るため、たくさんの知識や連携能力が必要とされ、日々苦戦しながらも活動をしています。

### 症状コントロールとして多いのは・・・

当院の緩和ケアチームへの依頼内容では、「疼痛コントロール」が1番多いです。

依頼があつてからは、まず患者さんが体験している苦痛に焦点をあて、直接聞き取りを行います。また、なぜ今そのような症状が出ているのか、医師と共に血液データや CT 画像などを用いながら評価を行い、状態把握に努めます。

薬剤調整が必要な患者さんに対しては、薬剤師と協力をしながら薬剤の使用方法や作用、副作用について説明を行い、調整を行います。

痛みのコントロールには、薬剤のみでなく心理的なアプローチも重要となってくるので、**患者さんの「不安」や「痛み」を理解**し、心のケアにも努めています。

その他、むくみのある患者さんや抗がん剤で脱毛のある患者さんに対してはマッサージを行ったり、ウィッグの相談にのったりと患者さんの生活の質が少しでもあがるようなアドバイスをさせて頂いています。



## 連携の橋渡し役 . . .

チーム医療の実践としては、看護師という立場からたくさんの医療情報が入ることや各職種との関わりがあるため、**きちんと情報を共有し、連携の橋渡し役**になることを主としています。

例えば、在宅療養を希望する方に関しては介護保険の事から実際の在宅診療・訪問看護などへの連携も行っています。また当院には緩和ケア病棟があり、療養先の選択肢の一つとして担当医から提示されることがありますが、まだまだ緩和ケア病棟のあり方を誤解している方も大勢いるため、緩和ケアに関する正しい知識を伝え、納得したうえで患者さん・ご家族が意思決定出来るようにお手伝いをしています。



今後も緩和ケアチームの看護師として、患者さんの症状のみでなく社会的背景など全体を見渡せる能力を身につけ、患者さん・ご家族の支援に真摯に取り組んでいきたいと思えます。どんな些細なことでも構いません。気になることや不安などあれば、遠慮せずにご相談下さい。

### 相談日時・相談場所

相談日時	月曜～金曜(土・日・祝日・年末年始を除く) 9:00～16:00
相談場所	1階 がん相談支援センター

### 相談方法

直接お越しくくださるか、お電話・メール(ホームページのフォーム)にてご連絡ください。

電話番号	097-569-3121 (代表) がん相談支援センター担当まで
------	----------------------------------